

2013年度学校自己評価(中等部・高等学校)

東海大学付属相模高等学校  
東海大学付属相模高等学校中等部

5～1は教員評価(5よい 4おおむねよい 3どちらともいえない 2やや不十分 1不十分)

分野	重点目標	成果と課題	評価	改善策
学校運営	年間教育目標の実践と点検・現状における課題の解決・改善に努める	<p>①本校の教育方針である文武両道、文理融合、中高大一貫教育、充実した理数・英語教育という教育の特色は理解され、その方針の下に学校教育が展開されている。理科に関しては特に大学との連携(SSP,体験授業等)が中・高とも取れている。高校1年生は全員東海大学湘南キャンパスで理工系の学部学科に一日体験入学し、理工系の学部学科の素晴らしさに触れさせている。</p> <p>②危機管理や安全対策の面では社会状況を反映して保護者から心配する声は多い。すべての保護者、外部者にIDカードを発行し、来校の際は着用して頂いている。車での出勤、来校を制限し緊急車両が安全に入構できるようにした。緊急情報発信メールシステムを導入。災害時や甲子園の連絡に役立てた。防災備蓄に関しては、すべての生徒に3日分の食料や水を用意した。来年度からは各クラスに防災用のタタメット(ヘルメット)を常備するようになった。</p> <p>③広報誌「相模」を定期的に発行し本校の教育活動の広報に努めた。HP上でも本校の教育方針、活動を発信できた。PTA活動(相模祭や施設見学会、クラブ活動後援会等)も活発に行われている。例年のことであるが保護者との連携という面では成果が見られた。</p> <p>④地域との連携は、本年度も生徒会により地域清掃、歳末助け合い運動、吹奏楽部が地元のお祭りに出演、福祉委員会が「ふれあいフェスティバル」で地元の方を招待したりなど活発に行っている。市民講座として今年度は著名人を招き3回講演会を開催した。多くの市民地域の学校関係者の参加があった。</p>	4	<p>①本校の教育方針の更なる達成のため今後も各方面と協力して努力したい。東海大学への進学率は85%であった。また、中等部からは95%の生徒が高校へ進学した。高校は90%、中等部は100%を目指したい。</p> <p>②危機管理室、健康推進室を中心として生徒の健康、安全に配慮し一層の取り組みを強化していきたい。次年度は中等部で「いのちの体験教室」を実施する。</p> <p>③本校の広報誌「さがみ」は好評であるため、HP上では見られない地域の方々に何らかの方法で見えていただく努力をしたい。建学祭(文化祭)や市民講座等の案内を町内の回覧板などを活用して広報していきたい。</p> <p>④地元の中学と連携して行事などを展開していければ良いと考えている。出前授業はすでに数校で実施している。運動部の一部で小学校、中学校と連携しているがその動きを拡大していきたい。</p> <p>⑤昨年度より実施した企画であるため検証が必要である。地域の商店・企業との連携をより一層強め、内容の充実を計りたい。在校生に対する発表会などを企画したい。</p>
学習指導	基礎学力の定着と授業の充実	<p>①「充実した授業」を目標に授業を展開した。しかし、例年と同じように中高とも十分には達成されたといえない結果である。「意欲的に学習しているか」、「学力が付いているか」「家庭学習の時間」というアンケート評価はいずれも低い評価にとどまった。図書館の活用状況は多少改善されてきた。しかし、まだ十分とは言えない状況である。本年度も各教科で研究授業を展開し授業力向上と生徒の学力向上に努めた。非常勤講師の研究授業も行い、全校上げて学力の向上に取り組んだ。</p> <p>②学園基礎学力定着度試験対策はしっかりと行った。高大連携試験への対策はまだ不十分であり、生徒のモチベーションを上げる必要がある。そのため、教師には学力を上げるべくより一層の工夫努力が要求される。</p> <p>③東海大学教育開発研究所などと連携し、教職員の研修に努めた。生徒へ日常的な宿題や課題を課すことが大事である。</p> <p>④SELHiの終了後、POSTSELHiとして本校は引き続き</p>	3	<p>①～③まで引き続き取り組み、充実した授業の構築、学力向上に努力したい。研究授業を次年度も継続して行いたい。学園で実施される2回の試験をもっと活用し、生徒の基礎学力の向上を図りたい。特に高校3年生後期の授業を充実発展させていき、高大連携試験につなげたい。</p> <p>④文部科学省のSELHi指定終了後、引き続きSELHi的な特徴ある授業は継続していく。昨年度実施しなかった公開授業を今年度は中等部、高校各学年で実施できた。</p>
クラス指導	遅刻・欠席のない明るいクラスづくり	<p>①生徒の悩みや問題に関して教職員、保護者の意識と生徒の意識には濃淡があり、生徒はもっと適切に親身になって指導してほしいと望んでいる。保護者の方は一定程度満足をしている。</p> <p>②常に心の悩み等に関しては健康相談室、養護教諭、相談室とも連携を取りながら進めた。精神的に悩む生徒も増えており、より注意深く生徒を見つめることが必要である。心の悩みが他校への転校という形になって現れるので、より早い対応が求められると思う。今年度は精神科医をお招きし心の悩みを抱えている生徒への対応をいかにすべきかを学んだ。</p> <p>③生徒同士の間人間関係はほぼ良好で、中高とも多くの生徒がクラスの一員としての自覚を持っている。多くは行事(特に文化祭、修学旅行)などでつながりを感じている。</p> <p>④学校生活に関してはおおむね生徒は楽しいと感じている。クラス、部活などに友人がいることが大きいように思う。保護者の評価も高い。</p> <p>⑤教室の清掃美化をしっかりと行うことによって、より良い環境を作ろうという意識が教師にも生徒にも芽生え始めている。</p>	4	<p>①については一層のきめ細やかな日常的な指導の必要性を感じている。職員会議学年会等で情報交換を活発にし生徒の問題の把握に努めたい。保護者との連携を一層深める必要がある。</p> <p>②心の悩みを訴える生徒は年々増えている。今後も関係機関と連絡を緊密にして生徒に対応していきたい。専門家を呼んでの研修会をおこなった。</p> <p>③クラス意識が高いので、錬成旅行、修学旅行、文化祭、体育祭などの行事等でより充実したクラスに育て上げていきたい。</p> <p>④多くの学校行事やクラス行事に積極的に生徒が関わっている姿が見受けられる。自主自立の精神が培われているので質的な向上を目指したい。</p> <p>⑤各種行事の前は特に念入りの清掃を行うなど今後も学校の美化に努めたい。</p>

生活指導	社会ルールとマナー指導の徹底	<p>①教職員、保護者は生活指導面では厳しい指導していると高い自己評価をしている。指導されている生徒の方も一定程度校則を守って生活をしているという意識を持っている。本校のよき伝統は守られている。</p> <p>②本校の重点目標「挨拶の励行」に関しては、まだまだ不十分と感じている。しかし、しっかりとあいさつができるクラブが増えてきており、この動きが一般の生徒にも広がってゆけばよいと思っている。登下校のマナーに関しては、登下校指導を以前より回数を増やしており、だいが苦情は減少した。</p> <p>③施設、設備の適切な使い方に関しては不十分であり、節電を訴えているが電気等のつけっぱなしも指摘されている。冷暖房の温度設定にも気を使っている。</p> <p>④美化意識に関して教職員、生徒とも徐々に向上している。学年によっては統一した指導が見られ、教室の美化が徹底されている。</p> <p>⑤中等部はトイレが新しくなった。施設設備を大切に使うという心を育てたい。</p>	4	<p>①本校の規則は厳しいという指摘があるが生徒はおおむね守っており、本校の生活指導は評価されて良いと思っている。今後も「いつでもどこでも」という指導の方針を徹底したい。</p> <p>②率先垂範の精神で教職員からの積極的な声かけ、挨拶から始めたい。挨拶の面では部活動を中心に良くなってきている。追従する部活がどんどん増えてほしい。</p> <p>③20011年度から導入された省エネルギーの数値目標を達成すべく努力したい。生徒の方の意識がまだ低いので啓蒙していきたい。</p> <p>④学年ごとに点検するというやり方を徹底したい。同時に、部活生がまずルールを守るという指導から始めたい。それを端緒として多くの生徒がルールを守るという姿勢を身につけさせたい。</p>
進路指導	目標設定と進路決定の早期化	<p>①中・高・大一貫教育のための進路に関する集会やオープンキャンパスの実施、保護者説明会等を実施。進路通信などを発行し情報を提供している。保護者の満足度は高いが、生徒、保護者の方はさらなる情報を要求しているようである。</p> <p>②日常的に廊下や教室などに進路に関する情報を掲示などして工夫した。進路ニュースも発行した。図書館などでも同様の試みをした。</p> <p>③進路決定が早期化したため、二者面談や三者面談を通して一層細やかな指導と情報提供が必要となった。時間的に十分ではないが、各自工夫して面談を行っていた。高校2年時の指導がカギになる。中等部の生徒も漫然と高校へ推薦で行くという意識を変えさせるべく、成績下位者には保護者を召喚し、親子面談をするなどして意識の向上に努めた。</p> <p>④医学部進学者に対する校長面接。他大受験希望者に対する副校長・教頭面接の実施</p>	4	<p>①LHRでの情報提供や学年からのきめ細やかな情報発信に努めたい。進路決定が早期化したため、教師も今まで以上に学ぶ必要がある。さらに進路通信を定期的に発行し啓蒙活動に努めたい。</p> <p>②③3年生の6月で進路が決定するという現状に鑑み、保護者面談を実施するなど特に2年生での進路指導に力を入れたい。進路決定の重要な要素である基礎学力定着度試験への取り組みを一層充実したものにした。高大連携の観点からも、11月に実施される高大連携試験にしっかり取り組みませたい。中等部の生徒には特に学力面での甘えがみられるので、定期試験棟で追試を行うなど厳しい姿勢で臨んだが、まだまだ十分とは言えない。</p>
特別活動	生徒会活動と部活動の活性化	<p>①おおむね生徒会活動は活発で自主的に運営されている。ただし、学校行事、生徒会活動、委員会活動に積極的にかかわっていないという生徒が、中等部、高校と多少の差はあるが、30%前後の数に上った。今年度全クラスが文化祭に参加した。大変すばらしいことであると思う。</p> <p>②保護者と教職員は部活動への指導が熱心であるかという問いには高い評価が出たが、生徒の方は運動部・文化部に関わらずもっと指導してほしいという要求をもっている。</p> <p>③全国大会に多くのクラブ(柔道、テニス、ソフトテニス、陸上、剣道、アーチェリー、吹奏楽部、美術部、ディベート同好会、囲碁将棋部、放送部等)が出場し、成果を上げている。</p>	4	<p>①生徒会活動や行事は活発だが、クラブ生の参加率が低いのが問題である。多くのクラブの生徒が建学祭(文化祭)などの行事に関わることができるようになりたい。委員会活動の活性化を図って魅力あるものにしていきたい。</p> <p>②今年度は文科系クラブが活躍したが、生徒がさらに熱心な指導を求めているということである。文化部が衰退しないように取り組みたい。部員数の少ない部活動を何とか活性化したい。科学系の部活を活発にしたい。</p> <p>③運動部に関しては懸案であった複数顧問制を実現した。</p>
研究・研修	公開授業の定期化	<p>①SELHi(英語)は終了したが、引き続き年特色ある授業を展開し先駆的な授業を実践していきたい。また各教科での研究授業を実施し授業力の向上に努めた。</p> <p>②教育開発研究所と協力し、数学、英語、理科の土曜研修を継続し、教員のスキルアップに努めている。</p> <p>③年2回の保護者対象公開授業の実施。</p> <p>④年3回の市民講座の開催。</p>	3	<p>①引き続き継続して取り組み、授業参加者のアンケートを授業に生かし課題を克服していきたい。文部科学省のSELHi指定はなくなったが、SELHi的な特徴ある授業は継続してゆきたい。</p> <p>②教員が学んできたことを実践の場で生かしたい。</p> <p>③保護者アンケートの意見を真摯に受け止めより良い授業を目指したい。</p> <p>④より多く地域の方々が参加できるように努力したい。</p>
その他		<p>①学校改革に関しては9年前から様々な取組が行われ、現段階では充実、発展期に入っている。</p> <p>②保護者の本校の教育への評価はおおむね好意的であり、評価が高い。情報を収集しながら危機管理や安全管理に一層努めていきたい。</p> <p>③今後とも現状に甘えることなく学校改革を推し進めて評価される、選ばれる相模高等学校・中等部教育を目指したい。</p> <p>④総合グラウンドを人工芝化した。野球場のネットを高く安全性を高めた。中等部トイレを改修した。施設設備面での充実今後とも取り組みたい。</p>		